

1 漢字の読み 1

組	
番号	
氏名	

1

次の傍線部分ぼうせんぶぶんの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

- ① 工事が遅延する (ちえん)
[注] 予定の期日や時刻より遅れること。
② 試合を継続する (けいぞく)

③ 底が抜ける (ぬ)

④ 虫を捕まえる (つか)

⑤ 滑らかな表面 [注] 「滑(すべ)る」という読みもある。 (なめ)

⑥ 心を込める (こ)

⑦ 失敗を恐れる (おそ)

⑧ 空気が乾く [注] 「恐(こわ)い」という読みもある。 (かわ)

⑨ 交互に外出する (こうご)

⑩ 怒り心頭に発する (いか)

2

次の傍線部分ぼうせんぶぶんの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

① 眠気がさす (ねむけ)

② 音楽会を催す (もよお)

③ 平和の象徴

(しょうちよう)

④ 歯の浮くようなおせじ

(う)

⑤ 暗黙の了解

(あんもく)

⑥ 憶測にすぎない

(おくそく)

⑦ 心身を鍛練する

(たんれん)

⑧ 時間を尋ねる

(たず)

注 「たづ」と書かないようにしましょう。

⑨ 吐息をはく

(といき)

⑩ 無実を叫ぶ

(さけ)

3

次の傍線部分の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

① 声を忍ばせる

(しの)

② 花も恥じらう

(は)

③ 寢食を忘れる

(しんしょく)

④ 慌ただしい毎日

(あわ)

⑤ 経費を削減する

(さくげん)

⑥ 憎しみを覚える

(にく)

⑦ 腰を抜かす

(こし)

⑧ 話が弾む

(はず)

⑨ 危険を回避する

(かいひ)

⑩ 難を逃れる

(のが)

注 「逃(に)げる」という読みもある。

1 漢字の読み 1

組	
番号	
氏名	

1

次の傍線部分ほうせんぶぶんの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

① 缶の蓋ふたを開ける (ふた)

② 合格を祈念きねんする (きねん)

③ 既すでに終わった (すで)

④ 幾度いくども立ち止まる (いくど)

⑤ ネコと戯たわむれる (たわむ)

⑥ 東京を拠点きょてんにする (きょてん)

⑦ 公園で憩いこう (いこ)

⑧ 彼の態度は潔いさぎよい (いさぎよ)

⑨ 表情が険けわしい (けわ)

⑩ 巧みたくに技を繰り出す (たく)

2

次の傍線部分ほうせんぶぶんの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

① 雌雄しゆうを決する (しゆう)

② 厳しく叱責しっせきする (しっせき)

次の傍線部分ぼうせんぶぶんの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

- ③ 出した意見は一蹴いっしゅうされた
- ④ 他人事には干渉かんしょうしない
- ⑤ 罪を償つぐなう
- ⑥ 疎うとましい行動をとる
- ⑦ 大きな騒動そうどうに巻き込まれる
- ⑧ 敵の動きを捕捉ほそくする
- ⑨ しばらくは安泰あんたいだ
- ⑩ 食べ物を貪むさぼる
- ① 多大な損害を被こうむる
- ② 罵声ばせいが飛び交う
- ③ 封印ふういんされた書物
- ④ 道の傍かたわらに花が咲く
- ⑤ 危険を冒おかす
- ⑥ 意見を急に翻ひるがえす
- ⑦ 悠然ゆうぜんと大河は流れる
- ⑧ ホルモンが分泌ぶんびつされる
- ⑨ ⑧注「ぶんび」ともいう。ここは海拔かいばつが高い
- ⑩ 食物を媒介ばいはいとして感染する

2 漢字の書き1

組	
番号	
氏名	

1

次の傍線部分ほうせんぶぶんのひらがなを漢字で書きなさい。

① いの中いのかわず大海を知らず (井)

② 版画をほる (彫)

③ 魚がここげる 注版画は「彫る」。穴は「掘る」。(焦)

④ なみだぐなみだましい努力 (涙)

⑤ 台風がおおそう (襲)

⑥ 水泳用のぼうしぼうしを忘れた (帽子)

⑦ はくりはくりよくに圧倒される (迫力)

⑧ 空をああおぐ (仰)

⑨ けっけっこん式は来月だ 注四画目を間違えないようにしよう(全六画)。(結婚)

⑩ ふうけいふうけいをえがく (描)

2

次の傍線部分ほうせんぶぶんのひらがなを漢字で書きなさい。

① 朝日がかがかがやく (輝)

② 夕食をめめしあがる (召)

③ 友人をなぐさめる

④ 仮名づかいを間違える

【注】「使い」ではなく「書く」こと。

⑤ 赤ちゃんをだく

⑥ 上着をぬぐ

⑦ 花をつむ

⑧ 材木をうんぱんする

⑨ わたる世間に鬼はない

⑩ 砂糖がとける

【注】「問題が解ける」と区別しよう。

3

次の傍線部分のひらがなを漢字で書きなさい。

① タオルを水にひたす

② かみなりが落ちる

③ 法律をたてに取る

④ 荷物をバッグにつめる

⑤ へびににらまれたかえる

⑥ 備えあればうれいなし

⑦ 空気がよごれる

⑧ いましめを守る

⑨ やわらかい羽

【注】「軟」と間違えないこと。

⑩ おうぎであおぐ

(慰)

(遣)

(抱)

(脱)

(摘)

(運搬)

(渡)

(溶)

(浸)

(雷)

(盾)

(詰)

(蛇)

(憂)

(汚)

(戒)

(柔)

(扇)

2 漢字の書き1

組	
番号	
氏名	

1

次の傍線部分ほうせんぶぶんのひらがなを漢字で書きなさい。

① 大きななりりえきを得る (利益)

② 丘をこえて海へ行く (越)

③ **調**「超こえる」との違ちがいを確たかめよう。
資し料りょうをひひかくして考くえる (比較)

④ 三さん日にち間かんのききゆうゆうかかをとる (休暇)

⑤ ぐぐううぜんぜん街まちで出で会あった (偶然)

⑥ **注**「遇ぐ」や「隅ぐ」と区く別べつして覚おぼえること。
頭あたまにかんむりをかかぶせる (冠)

⑦ 学がく級きゅうのはたを掲かげる (旗)

⑧ 自じ然ぜんかかんきようようをし守まもる (環境)

⑨ **注**「還かえ」「鏡かがみ」など似にている漢かん字じと区く別べつしよう。
ののどどかから手てがで出でるほどほしい (喉)

⑩ 空くう気きのていこうをかんかんじる (抵抗)

2

次の傍線部分ほうせんぶぶんのひらがなを漢字で書きなさい。

① 成せい績せきがふるわない (振)

② 大たい気き汚お染せんをよくせいする (抑制)

- ③ 給食をはいぜんする (配膳)
- ④ 建物をぞうちくする (増築)
- ⑤ 本州のなんたんを目指す (南端)
- ⑥ 上位進出をねらう (狙)
- ⑦ 花を植えるにはさいてきの土だ (最適)
- ⑧ **注** 「敵」と間違えないこと。
ていねいに説明する (丁寧)
- ⑨ びせいぶつを観察する (微生物)
- ⑩ **注** 「徴」と間違えないこと。
割りばしを洗う (箸)

3

次の傍線部分ぼうせんぶぶんのひらがなを漢字で書きなさい。

- ① 太平洋をたんどくで航海する (単独)
- ② 重いばつを受ける (罰)
- ③ **注** 「罪」と間違えないように気をつけよう。
高いひようかを受ける (評価)
- ④ 銀行に金をあずける (預)
- ⑤ 風船がはれつする (破裂)
- ⑥ 靴をはく (履)
- ⑦ 落ちた柿がつぶれる (潰)
- ⑧ 水を口にふくむ (含)
- ⑨ 米をしゅうかくする (収穫)
- ⑩ 品物をこうかんする (交換)

3 言葉の学習

組	
番号	
氏名	

1 次の①から⑱のそれぞれの文では、()の中の言葉のどれが適切ですか。言葉を丸で囲みなさい。

- ① 学級の()相違(総意)創意()で目標を決める。
- ② 自分の作品を()自業自得 意気消沈(自画自賛)する。
- ③ 二度と遅刻をしないよう()くぎをさした()けりをつけた()目をかけた()。
- ④ 観客はその試合をかたずを()守って()つかんで()のんで()見守った。
意 「かたずをのむ」・・・心配し、緊張しながらなりゆきを見守ること。
- ⑤ はるか遠い国の出来事に思いを()あずける()はせる()かける()。
- ⑥ その風景があまりにもきれいなので()うっとり()ほんのり()ぼんやり()とながめていた。
- ⑦ 彼をチームの()首相()主将()主唱()に選ぶことにした。
- ⑧ 彼は()機転()機会()機敏()をきかせて危機を脱した。
- ⑨ せっかくながらがんばったのに、その努力が()苦勞()労働()徒勞()に終わった。
- ⑩ 手に汗を()こする()にぎる()けずる()のような危険な思いをした。
- ⑪ おもしろくないことがあって、毎日()うきうき()はらはら()いらいら()していた。
- ⑫ 厚い本だったが、少しずつ読み進んで()いきなり()ついに()かなり()全巻を読み終えた。

⑬ あなたの作品は、たいへん（公表 講評 好評）でした。

⑭ 小さいときからの（習慣 習作 習得）で、午前六時には目が覚める。

⑮ 大会に向けて（一進一退 一心不乱 一石二鳥）に練習に取り組んだ。

⑯ まだこの作品は（未 無 不）完成です。

⑰ 読みたい本があると聞いて、私は（てっきり さっぱりと さっそく）
図書室へ行った。

⑱ 母から、「勉強も、野球ぐらい一生懸命やりなさい。」とよく言われるが、
（決して 別に 確かに）自分でもそう思うことがある。

調 意味の分からない言葉は調べてみよう。

2 次の各文の（ ）に合うもつともふさわしい言葉を の中から
選んで、その番号を書きなさい。

① バスが（ 4 ）来ません。

② （ 6 ）雨が降り出しました。

③ （ 2 ）給食の時間です。

5	3	1
すらすら	いろいろ	いったい
6	4	2
きゆうに	なかなか	そろそろ

3 次の各文の傍線ぼうせんの部分は不適切です。どのように直すかよいでしょうか。
正しい書き方をア・イ・ウの中から選んで○印をつけなさい。

① まるで恐竜が生きています。

ア 生きていません ① 生きているかのようです ウ 生きているでしょう

② とてもきれいなモンシロチョウになるとは思います。

ア 思えません イ 思いました ウ 思えました

③ もしモンシロチョウでなくてガでも、どうしようかと思いました。

ア ガなので、 ① ガだったら、 ウ ガのままなら、

4 文法1 言葉の単位

組	
番号	
氏名	

- 1 次の「言葉の単位」を、大きい順番に並べましょう。
「文・文章・文節・単語・段落」

文章 ・ 段落 ・ 文 ・ 文節 ・ 単語

- 2 調「言葉の単位」は教科書の文法の解説を見直すこと。
次の各文を(例)にならって文節ごとに一で区切りましょう。
さらに、(例)にならって単語のひとつひとつに――線を引きましょう。

(例) 母は――いつも――朝食を――作る。

- ① 大きな月が――ぼっかり――浮かぶ。
② イソギンチャクの――触手しよくしゆには――鋭いすどど――針が――あるのだ。
③ ヤドカリの――生態を――調べて――発表させる。
④ じっくり――考えないと――解けない――問題だ。
⑤ 西の――空が――赤いので――明日は――晴れそうだ。

- 3 次の各文から主語と述語を一文節で書き出さない。

① 大きな月がぼっかり浮かぶ。
主語「月が」 述語「浮かぶ」

② しだいに暖かくなり、やがて泉ヶ岳の雪も消えた。
主語「雪も」 述語「消えた」

- 4 注「消えた」のは「何か」を考えよう。
次の各文から、修飾語になっている文節を全部書き出さない。

① 大きな月がぼっかり浮かぶ。
調「修飾語」については教科書の文法の解説を見直すこと。

「大きな ・ ぼっかり」

② おそらく明日から太平洋側の海が荒れるだろう。
「おそらく ・ 明日から ・ 太平洋側の」

4 文法1 言葉の単位

組	
番号	
氏名	

1 次の各文の単語の数を、算用数字で答えなさい。

注 まず文節に分けよう。

① ~~大きな月が~~ぽっかり浮かぶ。 〔 5 〕

② ~~授業の始まる前には~~教科書を出すように、注意される。 〔 11 〕

③ ~~たくさん練習をしたので~~今日の部活は疲れた。 〔 12 〕

2 次の各文から、主語の働きをしている文節と、述語の働きをしている文節を、全て書き出しなさい。

注 「主語」「述語」は文節単位であることを忘れないようにしよう。

① わたしは、いつも六時半に起き、朝ご飯を食べ、学校に行く。

主語 〔 わたしは 〕 述語 〔 起き・食べ・行く 〕

② 父は、大きな声で応援したが、母は、こっそりと手を振った。

主語 〔 父は・母は 〕 述語 〔 応援したが・振った 〕

③ 母が菜を刻む音を、僕は、うとうとまどろみながら聞いた。

主語 〔 母が・僕は 〕 述語 〔 刻む・聞いた 〕

3 **調** 「主語」「述語」など「文の成分」について教科書を見直すこと。
次の各文から、修飾語の働きをしている文節を、全て書き出しなさい。

注 まず文中の「主語・述語」を確かめよう。

① 授業で体育館へ向かうときに担任の先生から呼び止められた。

〔 授業で・体育館へ・担任の・先生から 〕

② 父からの手紙は、机の引き出しの中に入っていた。

〔 父からの・机の・引き出しの・中に 〕

③ 母の楽しいな歌声は、台所から聞こえてきた。

〔 母の・楽しいな・台所から 〕

④ この山は、日本では古くから日本の象徴として親しまれている。

〔 この・日本では・古くから・日本の・象徴として 〕

5 文法2 文の成分・文節の働き

組	
番号	
氏名	

1 次の文の にあてはまる語句を書きなさい。

文は、「何が」「どのように」「どんなだ」のような、さまざまなのはたらきを持った部分から組み立てられている。こうした各部分を **文の成分** という。いくつかの文節がまとまって一つの文の成分としてはたらいっている場合、そのまとまりを **連文節** という。

2 となり合う二つ以上の文節がまとまって、一つの文の成分としてはたらく場合、そのまとまりを連文節といいます。次の各文の連文節に 線を引きなさい。

- ① 父と母が 仕事に行った。
- ② 先生は、たいへん優しい人柄だ。
- ③ わたしは、暖かい春の訪れを感じた。
- ④ 君までがそんなことを言うのなら、中断しよう。

3 文の成分は、一文節の場合は、主語・述語・修飾語・接続語・独立語、連文節の場合は、主部・述部・修飾部・接続部・独立部とよびます。次の 線部の文の成分を答えなさい。
調「連文節」については1年教科書を見直すこと。

- ① あなたの教科書は、机の上にある。 主部
- ② あれが僕の通っている中学校です。 述部
- ③ よく調べれば、真犯人が分かる。 接続部
- ④ まばゆいばかりの光、それが超新星の誕生だ。 独立部
- ⑤ 決められた時間と場所を守って出してください。 修飾部
- ⑥ 姉はたいへんきれいだ。 修飾語
- ⑦ あいさつ運動をいつ行うのか。 述語

5 文法2 文の成分・文節の働き

組	
番号	
氏名	

1 ニつ以上の連文節が、対等な関係で並んでいるものを「並立の関係」、補助的な意味を添える文節が後ろにある関係を「補助の関係」といいます。次の——線部はA「並立の関係」・B「補助の関係」のどちらか。記号で答えなさい。

- ① 父と母とが、東京を訪れた。 (A)
 - ② 今回の試合結果は、それほど悪くない。 (B)
 - ③ 遊びに出かける前に、宿題をやっておけ。 (B)
 - ④ 優しくたくましいので、兄が大好きだ。 (A)
- 2 **調** 教科書の文法の解説を見直そう。
 次の——線部の文節は、どういうはたらきをしていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 二年生になっても、またがんばろうと思う。 (ウ)
- ② 雨が上がった。そこで、試合が再開された。 (エ)
- ③ あらあら、ずいぶんがんばりましたね。 (オ)
- ④ まばゆいばかりの光、それが超新星の誕生だ。 (イ)
- ⑤ ゲリラ豪雨への対策を考えることが必要だ。 (ア)
- ⑥ あんなに泳いだのに少しも疲れていなかった。 (ウ)
- ⑦ 失敗だとは言えないが、完全な成功でもない。 (エ)

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語 エ 接続語 オ 独立語

次の——線部の文節は、どのような関係にありますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 明日で、長い夏休みが終わってしまう。
 〔 オ 〕
- ② この実験は、中学生や高校生に特に人気がある。
 〔 エ 〕
- ③ 発明家にとっては、失敗が成功の母になるのだ。
 〔 ア 〕
- ④ もし失敗したら、科学の発展は十年遅れるだろう。
 〔 イ 〕
- ⑤ 方が一に備えて、避難場所を見つけておく。
 〔 オ 〕
- ⑥ 今年の生徒たちは、みんな明るくて元気だ。
 〔 エ 〕
- ⑦ 朝から走り続けて疲れたので、帰ります。
 〔 ウ 〕

ア 主語・述語の関係

イ 修飾・被修飾の関係

ウ 接続の関係

エ 並立の関係

オ 補助の関係

調「文節どうしの関係」を確かめるには、1年の教科書の文法の解説を見直そう。

6 説明的文章1 指示語・接続語

組			
番号			
氏名			

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

縄文時代における漆利用は、土器に付着する漆塗膜の存在などから戦前より注目されてきましたが、その資料数は少なく、当時の技術を知るまでには至っていませんでした。(a)、近年の発掘調査によって、多くの漆製品が各地で出土し、装飾的な部分だけでなく、具体的な漆利用の実態が少しずつ明らかになってきました。

特に低湿地遺跡の調査が進むにつれ、様々な植物質の遺物が発見されるようになり、縄文時代の生活様式が多様であったことも分かってきました。(b)、様々な理化学的な分析によって遺跡を取りまく周辺環境の様相も明らかになっており、集落内でウルシの栽培・管理を行っていることも分かってきました。

東京都東村山市にある下宅部遺跡では、河川に打ち込まれた杭の材料として搔き傷の残ったウルシの木が利用されており、^①その数は五百本中四十二本と非常に割合が高いことがわかっています。ウルシの木は軽くて水に強いという特徴をもっており、^②そういった性質を生かして河川の杭として再利用されたものと考えられます。

また、その割合の高さや遺跡から出土する漆塗りの土器や弓などの漆製品の多さから考えて、遺跡周辺でウルシの木を栽培・管理していたことがうかがえます。

(仙台市富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)編集『漆の考古学』より・一部改)

* 漆塗膜：漆を塗料として用いて、塗った膜。耐久性、耐薬品性に優れた特長がある。

* 理化学的な：物理学と化学による。

* 下宅部遺跡：縄文時代後期の遺跡。

* 「ウルシ」と「漆」：「ウルシ」は植物として、「漆」はウルシから採取した液及びそれを利用したものと表記している。

* 搔き傷：漆はウルシの幹の樹皮に搔き傷を付けて採取する。

1 文章中の a、b、c の () に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えなさい。

ア また イ 例えば
ウ しかし エ そして

a
ウ
b
ア

注 a については、前の文と後の文が逆説の関係になっていることがヒント。

2 ①その数、②そういった性質は、それぞれどのような事柄を指していますか。①は「く数」、②は「く性質」という形で簡潔に答えなさい。

②	①
軽くて水に強いというウルシの木の性質 (ウルシの木は軽くて水に強いという性質)	掻き傷の残ったウルシの木の数

6 説明的文章1 指示語・接続語

組	
番号	
氏名	

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

地球は、大気に包まれています。この大気の中には、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスが含まれています。温室効果ガスは、太陽からの熱エネルギーを吸収し、再び地表に戻しています。①このため、地球の平均気温は摂氏15度と、人間や生物が生きるのに適した環境が保たれています。もし温室効果ガスがなければ、地球の平均気温は摂氏マイナス18度となり、生き物は地球に住むことはできなくなります。

（a）、温室効果ガスは本来なくてはならないものです。（b）、一七五〇年ごろから始まった産業革命以降、人間は石油や石炭などの化石燃料を大量に燃やして使うことで、大量の二酸化炭素を出すようになりました。

（c）、近年、大気中における二酸化炭素濃度は増え続け、その結果、温室効果ガスによる太陽熱の吸収量が増え、地球がどんどん温暖化してきています。

仙台市環境局環境部環境都市推進課作成「仙台市の温暖化対策と新エネルギー」から・一部改

- 1 文章中のa、b、cの（ ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えなさい。

- ア このように
イ 例えば
ウ しかし
エ そのため

a	ア
b	ウ
c	エ

【注】 文と文、段落と段落の関係を考えること。

- 2 ①このため、②その結果は、それぞれどのような事柄を指していますか。①は「くため」、②は「く結果」と簡潔に答えなさい。

①	温室効果ガスは、太陽からの熱エネルギーを吸収し、再び地表に戻しているため。
②	近年、大気中における二酸化炭素濃度が増え続けた結果。

7 詩1 詩の種類

組		番号		氏名	
---	--	----	--	----	--

1 次の詩を読んで、詩の種類について説明した各文の

あてはまる言葉を答えなさい。

に

あどけない話

高村光太郎

智恵子は東京に空が無いといふ、
ほんとの空が見たいといふ。
私は驚いて空を見る。
桜若葉の間に在るのは、
切つても切れない
おかしなじみのきれいな空だ。
どんよりけむる地平のぼかしは
うすも色の朝のしめりだ。
智恵子は遠くを見ながら言ふ。
阿多^{あたら}多羅^{たらやま}山の山の上に
毎日出てある青い空が
智恵子のほんとの空だといふ。
あどけない空の話である。

注読み方は「こうじ」。

① 現代の話し言葉を使って書かれているので

口語

詩である。

② 一行の音数にきまりがないので

自由

詩である。

③ この詩の種類は、

口語自由詩

である。

2

次の詩を読んで、詩の種類について説明した各文の
あてはまる言葉を答えなさい。

相聞 さうもん

芥川龍之介

また立ちかへる水無月の
歎きを誰に語るべき。
沙羅のみづ枝に花さけば、
かなしき人の目ぞみゆる。

① 昔の書き言葉を使って書かれているので

文語

詩である。

② 各行の音数にきまりがあるので

定型

詩である。

③ 各行は七音と五音から成り立っているのでこの詩は
の詩である。

七五

調

④ この詩の種類は

文語定型詩

である。

7 詩1 詩の種類

組
番号
氏名

1 次のAとBの詩を読んで問いに答えなさい。

A 初恋 島崎藤村

① まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

B 道程 高村光太郎

② やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こひ初めしはじめなり
(以下省略)

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る
ああ、自然よ
父よ
僕を一人立ちにさせた広大な父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ
常に父の気魄を僕に充たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

(1) A、Bの詩の種類としてを適切なものを、次のア～エから選んで記号で答えなさい。

- ア 口語定型詩
- イ 口語自由詩
- ウ 文語定型詩
- エ 文語自由詩

A …

ウ

B …

イ

注 Aの詩は五音・七音と規則的な音数になっている。

(2) Aの詩の①、②のようなまとまりを何といいますか。

連

(3) 次の文章の□に当てはまる言葉を答えなさい。

Aの詩はどの行も七音に続いて五音のリズムになっている。このような詩を□
七五□
調の詩という。

8 自分の意見を書こう

組	
番号	
氏名	

1

次のA・Bそれぞれの文章を読んで、問い①、②に答えなさい。

① 「意見」にあたる部分を線で囲みなさい。「根拠」にあたる部分には線を引きなさい。

② 線を引いた「根拠」が説得力があるとは言えないのはなぜか説明しなさい。

A

彼は部活動に今週は一日も参加していない。休む部員はふまじめだといえる。
だから、彼はふまじめな部員だ。

説明

(例) 部活動を休んでいる理由が分からない。かぜを引いているかもしれないし、何か事情があるのかもしれない。だから必ずしも彼がふまじめな部員かどうかは分からないから。

B

生徒会によるあいさつ運動が始まった。朝夕に、学校の玄関に生徒会の役員が並んでみんなにあいさつをしている。友達にあいさつ運動に参加しよう誘われた。私は、あいさつは一人一人が自分からするものだと思うのだ。だから、私はあいさつ運動に参加したくない。

説明

(例) あいさつは一人一人が自分からするものだ、と言っているのだから「私」はたぶん自分から進んであいさつはやっているのだろう。しかし、全校生徒のことを考えてあいさつ運動をしているであろう生徒会や、参加しよう誘ってくれた友達のように相手意識をもっていないと思われる。

9 古文1 古典の仮名遣い

組	
番号	
氏名	

1 次は、「竹取物語」の冒頭の部分です。――部をそれぞれ現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつよろづのことに使ひけり。名をばさぬきの造となおいひける。その竹の中にもと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてみたり。



※平成20年度
全国学力・学
習状況調査

「いふ」	県	93.3%
	全国	91.9%
「みたり」	県	82.9%
	全国	81.7%

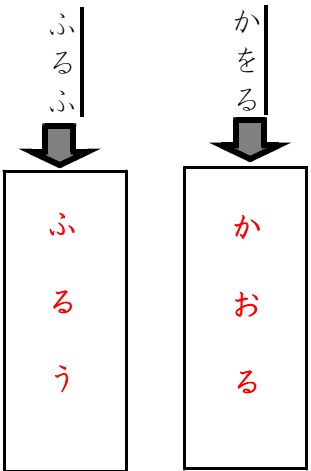
2 次は、「鯉のぼり」の歌詞の一部です。――部をそれぞれ現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

鯉のぼり

い^{注1}らかの波と雲の波
重^{注3}なる波の中^{注2}空^{なかぞら}を
た^{注3}ちばな^なか^かを^をる^る朝風^{あそかぜ}に
高く泳ぐや鯉のぼり

開ける^{ひら}の^の広^{ひろ}き^きその^{その}口^{くち}に^に
舟^{ふね}をも^も呑^のまん^{まん}様^{さま}見^みえ^えて
豊^{とよ}かに^{かに}ふる^{ふる}ふ^ふ尾^おひ^ひれ^れには
物^{もの}に^に動^{うご}ぜ^ぜぬ^ぬ姿^{すがた}あり

(文部省『尋常小学唱歌』による。)



※平成19年度全国学力・学
習状況調査

「かをる」	県	89.9%
「ふるふ」	県	75.9%

- 注1 いらか||かわらぶきの屋根。
注2 中空||空の中ほど。
注3 たちばな||ミカン科の木。初夏に白い花をつける。

9 古文1 古典の仮名遣い

組		番号		氏名	
---	--	----	--	----	--

1 次は、「徒然草」の冒頭の部分です。――部をそれぞれ現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

〔平成二十一年度 全国学力調査・改題〕

つれづれなるままに、日暮らし、硯におかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

あやしう

あやしゅう

注声に出して確認しよう。

ものぐるほしけれ

ものぐるおしけれ

2 次の和歌の――部をそれぞれ現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

陸奥のしのぶもぢぢり 誰ゆゑに 乱れそめにし 我ならなくに
いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に にはひぬるかな
(「小倉百人一首」より)

ゆゑに

ゆえに

けふ

きょう

にはひぬるかな

においぬるかな

10

故事成語

組	
番号	
氏名	

次の①～④の故事成語について、それが生まれるもとになった故事をA群のA～Eから、意味をB群のa～dからそれぞれ選び解答欄に記号で書きなさい。

また、①～④の故事成語の中から一つを選び、短文を作りなさい。

故事成語：①

杞憂きゆう

②

推敲すいこう

③

四面楚歌しめんそか

④

螢雪の功けいせつ

A群

ア 昔、中国の賈島かとうという詩人が詩を作っていたとき、「僧は推す月下の門」という句が浮かんだが、「推す」がよいか「敲く」がよいか悩みながら道を歩いているうちに官吏かんりの韓愈かんゆの一行にぶつかってしまった。詩人でもある韓愈はいきさつを聞き、「敲く」の方がよいと助言した。

イ 晋しんの時代、勉強家の車胤しゃいんは、貧しかったために夏は螢ほたるの光で読書をし、同じく孫康そんこうは冬には窓辺の雪明かりで勉強し、ともに立派な人物となった。

ウ 昔、杞きの国で、天が崩れ落ちてこないかと心配するあまり、寢食しんじよくも忘れてしまった人がいた。

エ 項羽こううの軍が漢の劉邦りゅうほうの軍に包囲されてしまった。夜、劉邦は部下に一斉に項羽の出身地である楚その国の歌を歌わせた。これを聞き、楚の人々が歌っているのを見て、項羽は、楚の地がすっかり漢のものになってしまったと落胆らくたんし、覚悟を決めた。

B群

- a 取り越し苦労。
- b 文章の字句を何度も練り直すこと。
- c 周りがみな敵で、味方がいないこと。
- d 苦学し、熱心に学んだ成果。

短文を書きましよう

(例①) 復習していないところが試験に出たらどうしよう
と心配していたが、杞憂に終わった。

(例②) 担任の先生に、放送原稿の推敲したものを見ていただいたら、
「これをお願いします」と言われうれしかった。

(例③) 兄はたくさん強いチームがひしめく地区でスポーツを続けて
いるが、「四面楚歌で大変だ」と言っていた。

(例④) 姉は猛勉強をして、志望していた高校に合格したが、父はそん
な姉のことを「螢雪の功」が実を結んだ、と褒めていた。

調 他の故事成語も調べてみよう。

- ・ 臥薪嘗胆 (がしんしょうたん)
- ・ 画竜点睛 (がりようてんせい)
- ・ 呉越同舟 (ごえつどうしゆう)
- ・ 完璧 (かんぺき)
- ・ 五十歩百歩 (ごじっぼひゃっぼ)
- ・ 塞翁が馬 (さいおうがうま)
- ・ 朝三暮四 (ちようさんぼし)

④	③	②	①		解答欄
イ	エ	ア	ウ	A群	
d	c	b	a	B群	

11 漢字の読み書き

組	
番号	
氏名	

1

次の傍線部分ほうせんぶぶんの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

- ① 食料を蓄たくわえる (たくわ)
- ② 災難に遭あう (あ)
- ③ 文明が滅ほろびる (ほろ)
- ④ いきさつを披ひろ露する (ひろう)
- ⑤ 小川を跳とび越す (と)
- ⑥ 胸が躍おどる (おど)
- ⑦ マッチを擦する (す) 注「踊る」と間違えないようにすること。 (こすも可)
- ⑧ 遠くの山を眺ながめる (なが)
- ⑨ 機械が壊こわれる (こわ)
- ⑩ 事実を踏ふまえる (ふ)
- ⑪ 店を畳たたむ (たた)
- ⑫ 人目を盗ぬすむ (ぬす)
- ⑬ 月が隠かくれる (かく)
- ⑭ 優劣ゆうれつをつける (ゆうれつ)
- ⑮ 詳しい報告を待くわつ (くわ)

次の傍線部分ほうせんぶぶんのひらがなを漢字で書きなさい。

- ① 地面に穴をほる (掘)
- ② 青葉がしげる (茂) (繁)も可
- ③ お話をうかがう (伺)
- ④ 伝統をほこる (誇)
- ⑤ 心がくもる (曇)
- ⑥ 人とのきよりを保つ (距離)
- ⑦ 新入生に入部をすすめる (勸) (薦)も可
- ⑧ 記録にいどむ (挑)
- ⑨ 平和をいのる (祈)
- ⑩ 暑さにたえる (耐)
- ⑪ 説得は深夜にまでおよんだ (及)
- ⑫ あぎやかな色 (鮮)
- ⑬ 決心がにぶる (鈍)
- ⑭ きげんが悪い (機嫌)
- ⑮ しきさいが豊かだ (色彩)

12 文脈に即して

組	
番号	
氏名	

1

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

A 今日、兄と同級生の石塚さんが戦災復興記念館に行った。

そこで、B 戦後の人々のたゆみない努力によって、C 郷土の文化が築かれてきた、ということを知ったそうだ。僕も、地域の文化や歴史についていろいろ調べたくなった。

①

今日、兄と同級生の石塚さんが戦災復興記念館に行った。は、主語が二通りに考えられます。「兄」と「石塚さん」の二人が「行った」ことをはっきりさせるためには、どう書き換えればよいでしょうか。(Aで使われている助詞だけを互いに入れ替えて書きなさい。)

注 「兄が同級生の石塚さんと・・・行った」となる。

() と () と () が () を書き換える

②

B 戦後の人々の を「戦後の人々は」にすると、C 郷土の文化が築かれてきたの部分は、どう書き換えればよいでしょうか。「戦後の人々は」に続けて書きなさい。

戦後の人々は、郷土の文化を築いてきた。

2

学級活動の時間に石川さんたちは、「クラスのみんなで取り組みたいこと」ということについて提案することになりました。次の文章は、その作文です。これを読んで、問いに答えなさい。

先日、就職活動まっただなかの八つ年上の姉が、何かを読みふけていた。中学校のときのクラスの文集で、そこに姉の文章もいくつか載っているものだった。「ドリカム・プラン」という表題がついている。中学生当時はそれほど気にとめていなかったその文集を就職間際になって読む気になったらしい。そのころの自分はどうなことを考えていたのか、また、どんな友達がいて、その友達はどんなことを書いていたのかなどについて、興味がわいてきたのだと照れながら話してくれた。

「クラスで文集を作ろう」というのが私の提案だ。なぜこのような提案をするのかというと、思い出を何か形あるものとして残したい。文集は、いつ読んでも、そのとき、その場に忘れてしまさまな思い出がわいてきて楽しい。姉のように五年、十年あるいはそれ以上経ってから読み返し、懐かしく思い出にひたることができる。また、文集の原稿を書いているうちに、過去のことだけでなく自然に自分の将来についても考えを深めることになる。

クラスみんなの中には、あらたまった文章を書くのが苦手だという人もいると思う。他の表現方法のほうが得意だという人もいると思う。そこで、学校生活の思い出や将来の夢など、各自の思い思いの内容をイラストなども含めて、形式や文体にあまりこだわらずに自由に書いてよいというようにすれば、みんなが取り組めるのではないか。

最低限、悪口や人の傷つくようなことだけは書かないように気を配ればよい。今から心積もりをしておき、三月には一年間のしめくりとして文集を完成させよう。

(仙台市中学校教育研究会国語部会編『こだま』所収生徒作品より)

- ① 広報係のみんなでこの提案する文章を読んだところ、「残したい」の部分が表
現上不適切であることに気がつきました。この文の内容を変えないように、「残し
たい」の部分を適切に書き直しなさい。

残したいからだ

- ② 次の1〜5を、この作文の段落内容順に並べ替えなさい。

- 1 文章を書くうえでこの作文の段落内容順に並べ替えている。
- 2 提案とその理由を示している。
- 3 読み手に呼びかけをしている。
- 4 具体的なエピソードをあげている。
- 5 予想される反対意見に対応している。

4 ↓ 2 ↓ 5 ↓ 1 ↓ 3

13 説明的文章2 根拠を見つける

組			
番号			
氏名			

1 体育委員の松田さんたちは、学級で体力づくりについてのアンケートを行い、体力づくりへの取り組みを学級に提案することにしました。次は、「アンケートの質問と回答の一部」です。これを読んで、問いに答えなさい。

【質問】

体力づくりについて、あなたが考えていることを書いてください。

【回答】

ア 中学生の体力が向上してきたという新聞記事を読んで、私たちは体力があるんだなと思いました。

イ 体力づくりには、早寝早起きの規則正しい生活と、バランスの取れた食事が大切だと思います。

ウ 小学校では、「なわとび週間」があって楽しかった。中学校でも昼休みを使って、何かやったらいいと思う。

エ 小学生や中学生が、放課後や休日に安心して運動できる場所を、学校以外にもつくってほしい。

オ 体力づくりを一人でするのは難しい。みんなで作った方が楽しいし長続きすると思う。

① 松田さんたちは、「昼休みに学級全体で運動をすること」を提案する文章を書くことにしました。その提案の根拠にすることができると答を、「アンケートの質問と回答の一部」のオからオまでの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ウ
オ

※平成21年度
全国学力・学
習状況調査
県 76.5%
全国 75.2%

- ② アンケートの回答には、様々な意見がありました。その中に、次の
[]のような意見もありました。松田さんたちは、「昼休みに学級全体で運動をすること」を提案する文章の中で、この意見も取り上げて書こうと思います。松田さんたちがこの意見を取り上げて書こうとした理由として最も適切なものを、1～4までの中から一つ選び、記号で答えなさい。

今の私たちにとって大切なのは、体力づくりよりも勉強です。もっと勉強に力を入れるべきです。

- 1 提案内容と同じ立場の意見であり、多くの人が提案内容と同じ考えをもっていることを強調できるから。
- 2 提案内容と同じ立場の意見であり、提案の根拠となる具体的な事例として適したものであるから。
- 3 提案内容とは異なる立場の意見だが、異なった考えをもつ人にも提案を理解してもらうことが大切だから。
- 4 提案内容とは異なる立場の意見だが、寄せられたすべての回答に等しく触れなければならないから。

※平成21年度
全国学力・学
習状況調査
県 69.1%
全国 68.7%

14 詩2 簡単な技法

組
番号
氏名

1 次の詩を読んで問いに答えなさい。

<p>からまつ 落葉松</p> <p>一</p> <p>からまつの林を過ぎて、 からまつをしみじみと見き。 からまつはさびしかりけり。 たびゆくはさびしかりけり。</p> <p>二</p> <p>からまつの林を出でて、 からまつの林に入りぬ。 からまつの林に入りて、 また細く道はつづけり。 (以下、省略)</p>	<p>北原白秋</p> <p>どうてい 道程</p> <p>高村光太郎</p> <p>僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る ああ、自然よ 父よ 僕を一人立ちにさせた広大な父よ 僕から目を離さないで守る事をせよ 常に父の気魄<small>きはく</small>を僕に充<small>み</small>たせよ この遠い道程のため この遠い道程のため</p>
---	---

(1) ①と②の部分に用いられている表現の技法を、次の中から選んで、それぞれ答えなさい。

- 比喩ひよ 擬人法 対句 倒置法 反復 体言止め

①： 対句 ②： 反復

調 「表現技法」を教科書で確認しよう。

2 次の 部アの表現に用いられている表現の技法を答えなさい。

A 少女の瞳の色は、澄んだ海のようなブルーだった。
注 「比喩」とはたとえのことである。
比喩(直喩)

B 私は信じている。必ずそれは実現すると。
倒置法

14 詩2 簡単な技法

組	番号	氏名

1 次の詩を読んで問いに答えなさい。

ラストラン

生徒作品

- ① 暑い日ざしのスタートライン
- ② しめった風が吹いている
- ③ 静かに私は目を閉じる
- ④ どれだけここに立っただろう
- ⑤ どれだけ走ってきただろう
- ⑥ 何度自分に負けただろう
- ⑦ いろんな想いがかけめぐる
- ⑧ 見すえたゴールの向こうには
- ⑨ 三年間追いつづけた夢がある
- ⑩ 予選に散った仲間の涙
- ⑪ 期待と願いを背に受けて
- ⑫ 今 白線に指を置く
- ⑬ 一瞬 静まり返るスタンドに
- ⑭ 胸の高まりだけがこだまする
- ⑮ 今 この一本にかけるラストラン
- ⑯ パン！
- ⑰ ピストルのかわいた音に押し出され
- ⑱ 飛び出した私は
風になる

(仙台市中学校教育研究会国語部会編『こだま』第54号所収)

※①～⑱は行番号を表します。

(1) ①行目や⑮行目に用いられている表現の技法を答えなさい。

体言止め

(2) ④・⑤行目に用いられている表現の技法を答えなさい。

対句

(3) パンのような言葉を何と言いますか。次の中から選んで答えなさい。

擬態語

擬音語

複合語

外来語

擬音語

(4) 飛び出した私は／風になるの部分に用いられている表現の技法を次の中から選んで答えなさい。

擬人法

直ちよく喻ゆ

隠いん喻ゆ

倒置

省略

隠
喻

④ 「直喻」と「隠喻」の違いを調べよう。

15 根拠を明らかにして書こう

組	
番号	
氏名	

1 国語の時間に、「自分の考えを伝える」というテーマで話し合いをしました。その中で、次のような意見が出されましたが、あなたはア、イのどちらの立場をとりますか。どちらかを選んだ上で、〈条件〉1〜3に従って自分の考えを書きなさい。なお、選んだ立場の記号に丸印をつけること。

ア 人に自分の考えを伝えるには、手紙より電話のほうがよい。
イ 人に自分の考えを伝えるには、電話より手紙のほうがよい。

〈条件〉

- 1 二段落構成とし、前の段落では、自分の選んだ立場について、その根拠となる体験や見聞を書き、後の段落では、それを踏まえて自分の考えをまとめること。
- 2 全体が筋の通った文章になるようにすること。
- 3 原稿用紙の正しい使い方に従って二百字〜二百五十字で書くこと。

解答例

選んだ立場の記号 「ア」

以前、友達が悩んでいたので、アドバイスをするために手紙を書いたことがある。ところがそれを読んだ彼女は、その後私と口をきいてくれなくなってしまった。私としては、十分考えて書いたつもりだったが、その文面が誤解を生んだらしい。

もし相手が誤解してしまったとしても、電話であれば相手の反応からその場でそれに気づき、すぐに対応することができる。そういった点を考えると、私は一方通行にならない電話のほうが、自分の考えを正確に伝えることができると思う。

解説

- 1 選ばなかったほうの立場を否定することも強力な根拠となるが、別の立場を取り上げること、どちらの立場を選んだのかが分かりにくくならないように注意する。
- 2 いきなり書き出すのではなく、どの立場を選ぶか、その根拠としてどんなものが挙げられるかなど、全体の構成をよく考えてから書き出すようにする。

16 古文2 古文の言葉とその意味

組	
番号	
氏名	

1

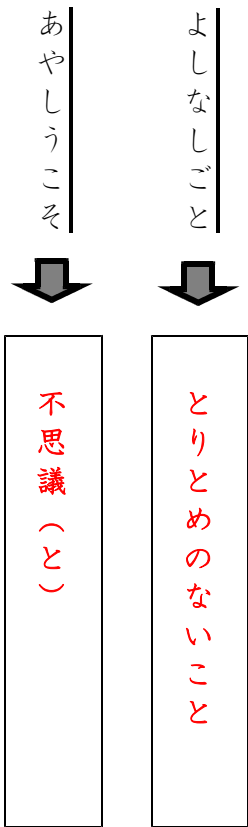
次は「徒然草」の「冒頭の部分」とその「現代語訳」です。
 部の言葉の意味を「現代語訳」の中から抜き出しなさい。

【冒頭の部分】

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりにおかひて、心にうつりゆくよ
 しなしごとを、そこはかたなく書きつくれば、あやしうこそものぐる
 ほしけれ。

【現代語訳】

何もすることがないままに、一日中、硯に向かかって、心に次々と浮
 かんでは消えていくとりとめのないことを、ただなんとなく書き付け
 ていると、不思議と妙な感じがしてくる。



※平成21年度全
 国学力・学習状
 況調査

県	69.8%
全国	65.0%

2

次の①～④の古語の意味をあとのア～カの中から選び、記号で答えな
 さい。

- ① いと
- ② うつくし
- ③ ある
- ④ あはれ

ア 少し。	イ 非常に。たいへん。
ウ 座っている。	エ かわいらしい。
オ 悲しい。	カ しみじみとした趣がある。

④	③	②	①
カ	ウ	エ	イ

16 古文2 古文の言葉とその意味

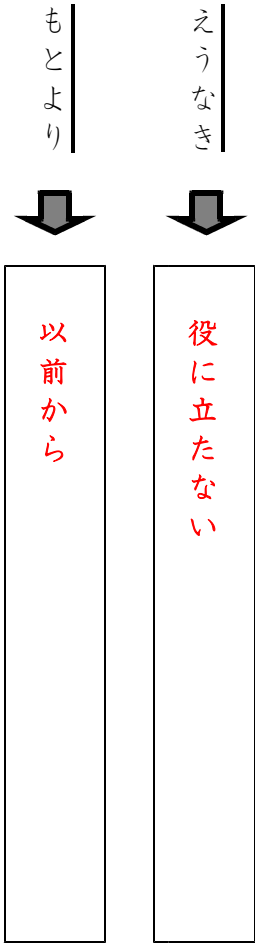
組			
番号			
氏名			

1 次は「伊勢物語」の一節とその「現代語訳」です。――部の言葉の意味を「現代語訳」の中から抜き出しなさい。

昔、男ありけり。その男、身をえうなきものに思ひなして、京にはあらず、あづまの方かたに住むべき国求めにとて行きけり。もとより友とする人、一人二人して行きけり。道知れる人もなくて、惑まどひ行きけり。
(「第九段」より)

【現代語訳】

昔、男がいた。その男は、自分を役に立たない者と思ひこんで、京にはいるまい、東国の方に住める国を探しに(行こう)と思つて出かけた。以前から友とする人、一人二人と一緒に行った。道を知っている人もなくて、迷いながら行った。



次は「徒然草」の一節とその【現代語訳】です。――部の言葉の意味を【現代語訳】を参考に答えなさい。

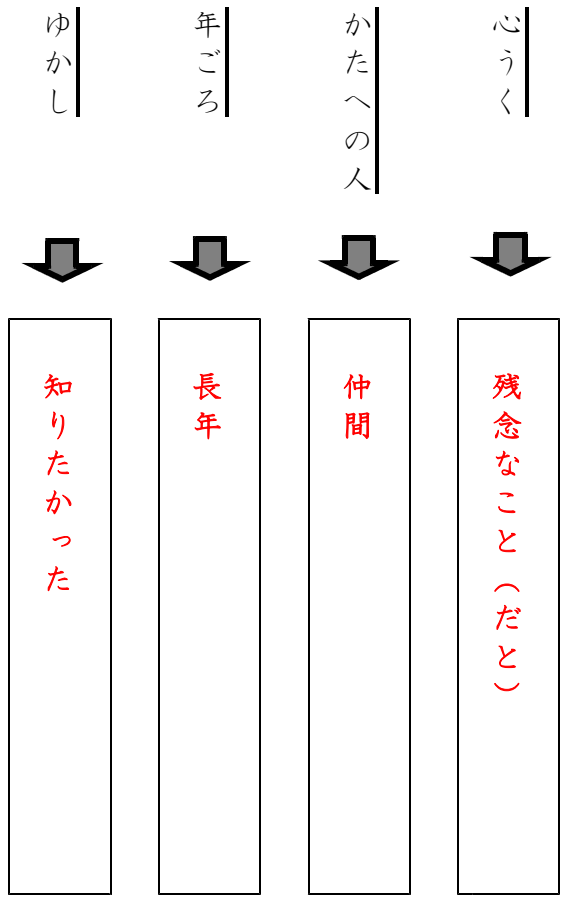
仁和寺にんなじにある法師、年としよるまで、石清水いししみづをおが拝まざりければ、心こころうおぼ覚おぼえて、ある時思おもひ立ちて、ただ一人、徒歩かちより詣まうでけり。極楽寺ごくらくじ、高良かうらなどをおが拝みて、かばかりと心得こころえて帰りにけり。さて、かたへの人ひとにあひて、「年としごろ思おもひつること、果はたしはべりぬ。聞きしにも過ぎて、尊たうくこそおはしけれ。そも、参まゐりたる人ごとに山へのぼりしは、何事なにことかありけむ、ゆかしかりしかど、神へまゐるこそ本意ほんいなれと思ひて、山までは見みず。」とぞ言ことひける。

少しのことにも、先達せんだちはあらまほしき事なり。

【現代語訳】

仁和寺にいたある法師が、年をとるまで石清水八幡宮を参拝したことがなかったので、残念なことだと思われ、ある時思い立って、一人で歩いて参詣した。極楽寺・高良（神社）などを拝み、これだけのものと思いきんで帰った。そして仲間に会い、「長年思っていたことを、果たしました。話に聞いていた以上に尊たうくていらっしやいました。それにしても、参詣した人がみな山へ登っていったのは何事かあったのでしょうか、知しりたかったけれど、神に参まゐることが本来の目的だと思おもい、山までは見みませんでした。」と言ことった。

わずかなことにも、（その道の）案内者はあってほしいものである。



17 古文3 内容を読み取る

組	
番号	
氏名	

1 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

〔平成十四年 宮城県公立高校入試問題〕

ねたきもの^①。人のもとにこれよりやるも、人の返事^{かへりごと}も、書きてやりつる後、文字一つ二つ思ひなほしたる。とみの物縫^ぬふに、かしこう縫ひつと思ふに、針をひきぬきつれば、はやく^②尻を結ばざりけり。また、かへさまに縫ひたるも、ねたし。

(「枕草子」による)

※とみの…急ぎの かしこう…うまく
はやく…何とまあ かへさまに…裏返しに

① 右の文章中の「^①人のもとにこれよりやるも」とは、「人のところここちらから送るのでも」という意味ですが、何を送るといいますか。もっとも適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 衣服 イ 道具 ウ 手紙 エ 日記

ウ

② 右の文章中に「^②尻を結ばざりけり」とありますが、何の「尻」を「結ばざりけり」であったのか、漢字一字で答えなさい。

糸

③ 右の文章に述べられている作者の心情として、もっとも適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分ではよいと思ったことを非難され、腹立たしく思っている。
イ 自分がついっかりして失敗したことを、腹立たしく思っている。
ウ 自分の贈り物に心をこめることができず、腹立たしく思っている。
エ 自分の期待していた書物が手に入らず、腹立たしく思っている。

イ

17 古文3 内容を読み取る

組	
番号	
氏名	

1 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

〔平成十九年 宮城県公立高校入試問題〕

①人の心は、水の入れものにふうがごとし。入れもの細ければ、すなわち細し。まろければ、すなわちまろくなる。心は朋友ほうゆうにならふ。いかが選ばざるべけん。

〔「十訓抄」による〕

※いかが選ばざるべけん。…どうして選ばないでいられようか。

① 右の文章中に「①人の心は、水の入れものにふうがごとし。」とありますが、次の文章は、このことを説明したものです。(a)、(b)の問いに答えなさい。

水は入れものによってその形が決まる。この水と入れものとの関係は、人の心と との関係にあてはめることができる。

(a) にあてはまる言葉を、文章中からそのまま抜き出して答えなさい。

朋友

(b) 「人の心」が「水」にたとえられるのはなぜですか。「人の心は、水と同じように」という言葉に続けて、その理由を、三十字以内で説明しなさい。

(例)

人	の	心	は	、	水	と	同	じ	よ	う	に	そ	れ	自
響	を	受	け	て	変	わ	る	か	ら	。				
体	に	決	ま	っ	た	形	は	な	く	、	周	り	の	影

② 右の文章から読み取れる筆者の考えとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一生のうちで、心を通わせられる真の友人にめぐり会うことはまれである。

イ すぐれた友人を見習って、自分の行いを改めるよう心がけたいものである。

ウ 友人は多ければ多いほどいざというときに頼りになり、心強いものである。

エ 互いの成長には、よい影響を与え合うような友人を見つけたいものである。

エ

18 文法のまとめ 接続詞・指示語・単語分類

組	番号	氏名

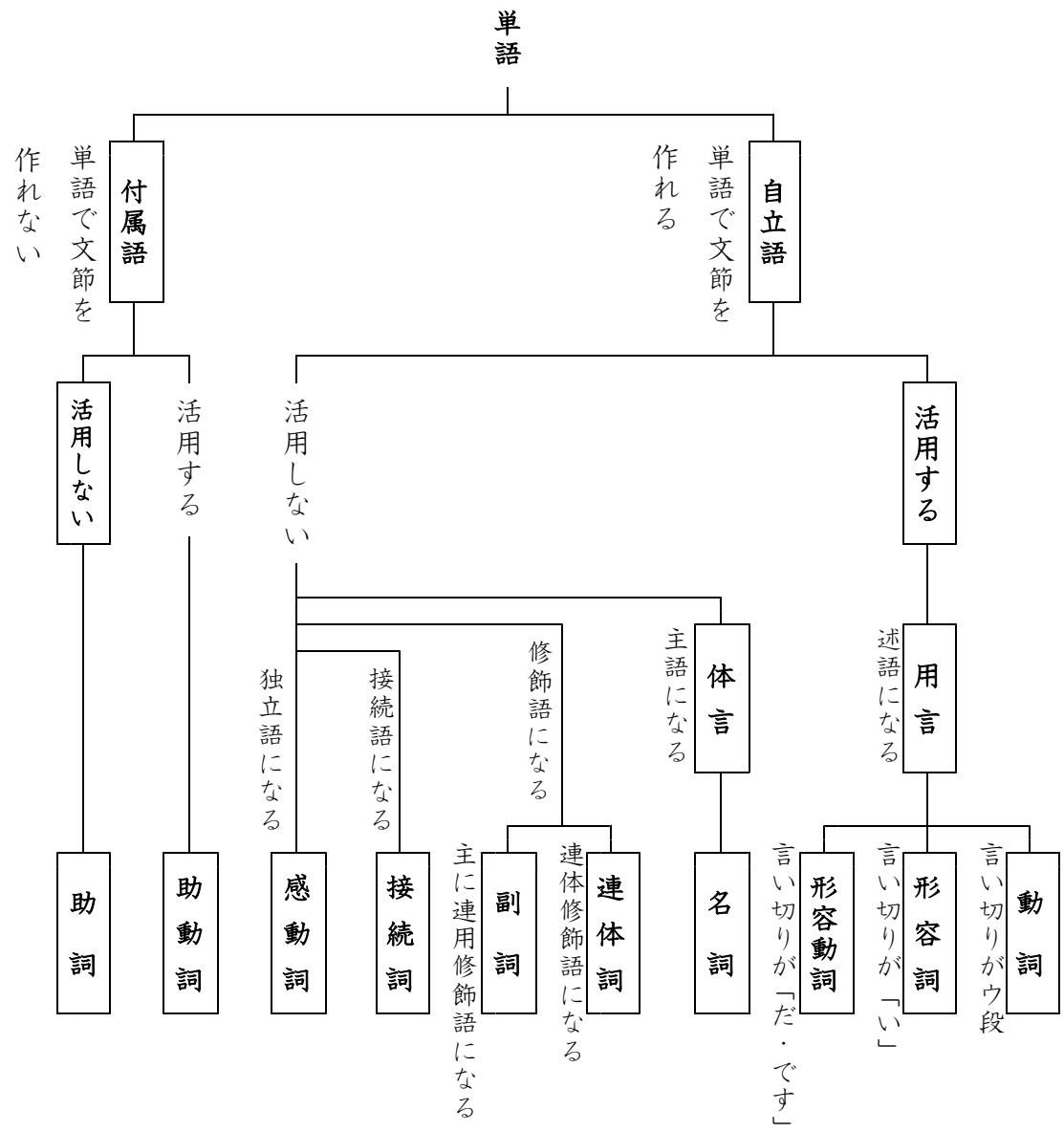
- 1 次の表を読み、後の文の —— 線部の**接続詞**が、どのはたらしきになるか、A～Fの記号で答えなさい。

A	順接……………前後の関係が、普通 <small>ふつう</small> に考えられるもの。
B	逆接……………前後の関係が、普通 <small>ふつう</small> に考えられるものとは逆であるもの
C	累加・並立……………前の事柄 <small>ことば</small> に後の事柄を付け加えたり、前後の事柄を並べたりするもの。
D	説明・補足……………前の事柄に対して、後で説明や付け足しをするもの。
E	対比・選択……………前後の事柄を比べたり、どちらかを選んだりする関係のもの。
F	転換……………前の事柄を述べ終わり、別の事柄を持ち出すもの。

- ① 雨は上がった。だから、運動会は再開された。〔 A 〕
- ② 雨は上がった。しかし、運動会は中止が決まった。〔 B 〕
- ③ 兄は勉強がよくできる。また、スポーツ万能でもある。〔 C 〕
- ④ 運動会は中止が決まった。なぜなら、雨が降っていたからだ。〔 D 〕
- ⑤ ありがとう。ところで、頼んだものは持ってきましたか。〔 F 〕
- ⑥ あなたが好きな果物はブドウですか。それとも、スイカですか。〔 E 〕
- 2 「これ・それ・あれ・どれ」などのような、何かを指し示す時に使う言葉を指示語といいます。次の —— 線部の指示語は文中のどの言葉を指し示しますか。

- ① 友達が公園で待っているから、今から行くもそこそこに行きたいな。〔 公園 〕
- ② 「幸運薬だ。後で必ず必要になる。二人でこれを飲んでほしい。」〔 幸運薬 〕

次の「単語の組分け表」を、後の語群から言葉を選び、完成させなさい。



副詞	体言	〔語群〕 自立語
連体詞	用言	付属語
感動詞	名詞	活用する
接続詞	動詞	活用しない
助動詞	形容詞	
助詞	形容動詞	

組	
番号	
氏名	

18 文法のまとめ 接続詞・指示語・単語分類

1

次の各文の（ ）に当てはまる接続詞を、後の から一つを選んで書き、文の意味が通るようにしなさい。

- ① 今日はこれで授業を終わります。（ただし）、明日もう一度復習します。
- ② どうしても問題が解けない。（そこで）、先生に質問することにした。
- ③ 兄はスポーツが万能だ。（そのうえ）、成績も優秀だ。
- ④ 試験は散々だった。（なぜなら）、問題が難しかったからだ。

そこで なぜなら そのうえ ただし または

2

次の —— 線部の指示語の、指し示す部分を抜き出しなさい。

- ① 僕は十歳ほくぐらいの時、チヨウ集めにひどく心をうち込んでしまい、そのためほかのことはすっかりすっぱかしてしまったので、みんな何度も僕にそれをやめさせなければなるまい、と考えたほどだった。

- ② サッカーと野球。どちらも日本でも人気のプロスポーツだが、プロスポーツとして歴史が浅いのは、前者だ。

3 次の —— 線部の単語（品詞）の名前を後の から選んで、書きなさい。

- ① 大きな **〔連体詞〕** 大きな **〔名詞〕** **〔助詞〕** が **〔副詞〕** **〔動詞〕** 沈む。

- ② けれども、地平線には **〔形容動詞〕** 静かに **〔助動詞〕** 月が姿を **〔助動詞〕** 現わした。

- ③ ああ、地球は **〔感動詞〕** **〔形容詞〕** 美しかった。

名詞	動詞	形容詞	形容動詞
副詞	連体詞	感動詞	接続詞
		助動詞	助詞

19 作文 段落を意識して書く

組	
番号	
氏名	

1 次の題で、1と2の条件に従って作文を書きなさい。

自然を守る

- 1 二段落構成とし、第一段落では、自然を守る活動について、体験や見聞を具体的に書き、第二段落では、そのことに対する自分の考えを書くこと。
- 2 二百字以上、二百五十字以内で書くこと。

● 指示された段落数にしたがって書く

例

干潟が埋め立てられ、水門が勢いよく落下するのをテレビで見ることがある。埋め立てられた干潟はひび割れ、干潟の生物は死んでしまった。テレビは、この干潟をもとに戻すよう活動する人々を映した。自然を守ることがいかに大切か訴えていた。

自然は一度破壊されると、なかなかもとは戻らない。そのことをよく考え、人工的なものをつくる場合は、もとの自然をできるだけ残して開発する必要があると思った。

解説

指示された段落数にしたがって文章を書く場合、すぐに原稿用紙に書かず、以下のようなポイントに注意して簡単なメモをとってから書くことが大切である。

1 指示に合った構成メモを作る。

(例) 題名 自然を守る

第一段落 体験したことなど(具体例)

第二段落 自分の考え(意見)

2 与えられた題名に対し、どのような体験・見聞したこと(具体例)が思い浮かぶか、いくつか書き出す。

3 その具体例の中から、いちばん書きやすいものの一つを選ぶ。

4 その具体例からどのような自分の考えを持ったか簡単にメモする。

5 段落と段落をどうつなぐか、つなぎの言葉を考える。

(例) 「いいことから……」

6 最後のまとめの文章を考えてから、文章を書き出す。